

勝山市エコミュージアムニュース

平成18年度の取り組み

勝山市エコミュージアム協議会



勝山市エコミュージアム協議会とは

勝山市エコミュージアム協議会は、勝山市の豊かな自然環境と伝統文化を生かしたまちづくりの手法として、まち全体を屋根のない博物館とみなす「エコミュージアム」を推進するため、各地区まちづくり団体と市民団体等から構成された団体です。

平成18年度の「わがまちげんき創造事業」の取り組みをはじめとする各構成団体の取り組みを紹介します。

勝山地区エコ推進協議会

「まち中 高札設置」

勝山地区内26箇所に、通りの名称・由来や地域の歴史を記した案内板を設置しました。

案内板は、江戸時代の「高札」を模した形で、白地に黒文字で記され、高さは約2メートルあり、各々道路に面して設置されています。



「まち中 歴史ウォーク『まち中 古寺めぐり』」

勝山地区エコ推進協議会とせいき塾の合同で、まち中歴史ウォーク第1弾「まち中 古寺めぐり」を開催しました。各寺では、ご住職から寺の由縁や寺の建物にまつわる話などをお聞きしました。

同じ勝山地区におりながら、自分の家の寺以外はなかなか入らせていただく機会がないので、参加者の皆さんは、ご住職の貴重なお話に熱心に耳を傾けていました。

「まち中 歴史ウォーク『旧白山道と長山石碑めぐり』」

まち中歴史ウォーク第2弾『旧白山道と長山石碑めぐり』と題して、沢町の庚申野道を通り、長山講武台に現存する11の石碑をめぐり、旧白山道を散策してきました。途中、念仏寺では、お寺の由来をご説明いただきました。さまざまな歴史背景や人々の思いを背負って、石碑は現在も建ち続けているのだと、石碑に対する敬意の念が湧いた歴史ウォークとなりました。



猪野瀬まちづくり推進協議会

「特産品の開発 健康野菜ヤーコンを作ろう！」

ヤーコンは南米原産のサツマイモに似た野菜です。甘みがあり梨のような食感で、その葉はお茶になり、中性脂肪や血糖値の抑制など健康野菜として注目されています。収穫されたヤーコンは成分等を分析し紹介していく予定です。



「花・野菜いっぱい事業」

多くの人の目にとまるように、猪野瀬公民館の隣に花畑・野菜畑を作り、猪野瀬農園として、地域や児童センターの児童を招き花摘みなどを行いました。また、この農園で取れたトウモロコシなどの野菜の収穫を行いました。

「食文化事業」

猪野瀬農園で収穫した野菜を使って、伝統料理である報恩講料理の披露や、もちつき大会を行いました。もちつき大会では、親子そろって参加される方もいて、多くの子どもの姿が見られました。その後には試食会を行いました。



平泉寺町まちづくり推進協議会

「まんが本『平泉寺ものがたり』」

平泉寺の歴史を、大人はもちろん、子供にも分かりやすく理解してもらおうと、まんが本を制作しています。昨年からの継続事業で、今年度は、校正作業と印刷をしました。



「名所旧跡標柱整備」

今年度で5年目となる事業で、平泉寺町に多くある名所旧跡に由来を刻んだ標柱を設置し、ことの起こりやいわれを多くの人に知っていただいています。11月にはそれらの標柱を設置した遺跡めぐりを実施しました。

「平泉寺滝めぐり登山」

平泉寺町にある弁ヶ滝・御堂之滝を巡る登山を企画し、参加者を募集しました。当日は天候にも恵まれ、以前にまちづくりで整備した三頭山山頂からの展望も素晴らしいものでした。



まちづくり・むろこの会

「ちょうちん登山」

勝山市の名前の由来ともなっている村岡山（かち山）。一向一揆で戦った当時の農民に思いを馳せ、例年8月16日には、ちょうちんを手に町内外からの参加者が村岡山の山頂を目指します。



「魚のつかみ取り体験」

いつの間にか遠くなってしまった川が存在。身近な水辺環境の見直しを進めるため、螢をメインにして、河川清掃や講演会を開催しています。川に親しんでもらうために開催しているつかみ取り体験は大人にも子供にも大人気です。

「冬の螢回廊」

何かとやっかいな雪。雪の季節に環境美化をアピールするために、雪の中に埋めたろうそくを螢に見立てた冬の螢回廊の様子です。ほのかに光る、廃油で作ったろうそくの光は幻想的な空間を作り出します。



北谷町まちづくり推進協議会

「遺産めぐりウォーキング」

北谷町一円でウォーキングの予定をし、準備を開始しましたが、大雨のため道路が各所で寸断してしまったため、規模を縮小して実施しました。市内より28名の参加をいただき、楽しく有意義な一日で、参加者の方からも「勉強になり大変よかった」との声をいただきました。



「食通事業『すこ』試作」

熟れ鮓し加工所を使用しての新商品開発をしようと「すこ」の試作を行いました。炒る・もむ・塩・酢・砂糖と大衆の味になるよう四苦八苦しての調合でしたが、なかなか思ったような味になりませんでした。来年にはなんとか商品化にこぎつけたいと思っています。

「『鯖の熟れ鮓し旨味』試作」

北谷の味として売り出した熟れ鮓しを、もっとおいしくしようと今年度から、麴・生姜・酢・塩ぬき・重石などを少しずつ加減して2種類ずつ作成しました。近年中にもっとおいしい熟れ鮓しになることを目指しています。



野向町まちづくり推進委員会

「のむきコスモスまつり」

10月8日、コスモスはまだ三分咲きでしたが、薬師神社境内にて無料のじんだ汁のほか、野菜等の模擬店を出し、コスモスの優しさや町民の素朴な温かさに触れていただきました。写真コンテストも開催し、趣向を凝らした作品が多数寄せられました。



「野向のえごま」

今年は昨年よりえごまの作付面積を拡大したため、収穫量も約3倍に増え、年の市でのえごま油の売行きも上々でした。えごまは移植や刈取り、選別等手作業が多いが、生産者が増えた事や講習会で健康食品として周知できた事が良かったと思います。

「広報紙『よんどくねんせ』の発行」

野向町のまちづくり事業を町内外に周知すべく発行した広報紙が5回目となります。えごまやコスモスまつりに関わったスタッフの生の声を掲載し、現在取り組んでいる事業内容を紹介しました。これからも広報を積極的に活用していきたいと思っています。



荒土町ふるさとづくり推進協議会

「勝山市内まちづくり研修」

今年は、市内各地区の観光名所やまちづくりを研修しました。これまで各地区のマップなどから知識はあるものの、あらためて自分の足で歩くと新しい発見があり、参加した会員は新鮮な様子で見学していました。



「炭焼きで伐採した山への植林作業」

これまでの炭焼きで伐採した山へ植林を行いました。特にいい炭になるクヌギやカシなどの木を植えました。小中学生の親子にも参加を呼びかけて、植林の必要性を学習してもらいました。今後も、伐採した山には植林したいと考えています。

「炭焼小屋の修繕」

昨年の大雪で甚大な被害を受けた炭窯と炭焼小屋を修繕しました。炭窯はこれまでの炭焼きなどで窯の天井部分が薄くなっており、小屋は雪の重みで屋根全体が沈み傾いていました。今回の修繕では、窯を新しくし、小屋を建て替えました。



北郷町づくり委員会

「ほたるの里づくり」

北郷公民館前の川は、住宅地には珍しいほたるの群生地です。この土地を造成し、ほたるの観察や自然体験学習ができる、町民の憩いの広場を造ります。今年度はほたるの鑑賞会を行いました。みなさんもほたるを見に来てください。



「鮎の巻き寿司」

北郷町は九頭竜川に面した土地で、鮎釣りでも有名です。この鮎を使った名産ができないかと思案し、鮎の巻き寿司が完成しました。甘露煮の甘さと酢飯のハーモニーが絶妙です。現在は行事等で試食していただいておりますが、今後は販売も検討していきたいと思っております。

鹿谷町まちづくり協議会

「城山登山道の整備」

保田、西光寺の歴史ある城山を広く町民に知ってもらうため、急な登山道には階段を取り付け、山頂は鹿谷町や勝山市を一望できるよう森林の伐採等の整備を行いました。これからも町民が鹿谷町の歴史を肌で感じ、親しみの場になる環境に整備していきたいと考えています。



「地区村祭りの盛り上げ」

青年部が中心となり鹿谷町の志田、西光寺、本郷、杉俣、発坂地区の村祭りにおいて昔ながらの射的と千本釣りの屋台を出店。年々訪れる人が少なくなってきた各地区の祭りに大人も子供もたくさんの方が訪れ、村祭りは昔の賑わいを取り戻しました。

「史跡巡りウォーキング大会」

本年度整備した保田、西光寺城山を中心に、西光寺大杉、蓮如上人旧跡、志田八幡神社の石灯籠、鹿谷町忠魂碑を巡るウォーキング大会を開催。参加者は各遺跡でのクイズ大会や城山頂上での歴史講座に参加して鹿谷町の歴史に思いを馳せました。



遅羽町住民協議会

「バンブライン登山道沿いに咲くカタクリの花」

例年、春と秋の2回、地域住民が汗を流して登山道の草刈などの整備をします。

平成18年の大雪で登山道の一部が崩れたのを、ブロックを運ぶなどして修復しました。



「バンブライン樹木名札取り付け」

昨秋、バンブラインを登山する人にわかりやすいようにと、樹木に107枚の名札を取り付けました。

「三室山縄文遺跡」

秋の三室まつりには、小学生が熱心に縄文遺跡について地域のお年寄りや勝山市の学芸員から説明を聞き、郷土について理解を深めました。

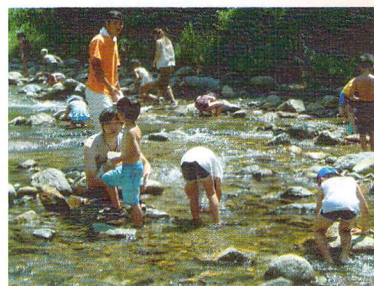


勝山ネイチャークラブ

「岩屋の清流で川遊び」～アウトドアデビューのお父さん集まれ～

今回は1日のプログラムとし、移動もせずにスタッフの得意分野を活かして参加者とともに「楽しむ」という視点で関わることにしました。

メインテーマは、①清流の体験～勝山のアピール～ ②川の生き物に素手で触れる ③親子と一緒にドキドキワクワク体験、として「勝山にもこんないいところがあるよ!」「もっと親子と一緒に自然の中に出かけようよ!」という思いを込めた企画で、天候に恵まれた当日には、市内外から15組62名の親子に参加していただき、勝山の自然を満喫していただきました。



「親子で雪遊び in 冬山」～冬山から生き物と人の共生を考える～

冬の企画は、「雪が降らなかったらどうする?」という不安があったのですが、実施場所の芳野ヶ原には1m以上の積雪があり、①冬の森から「生き物」との共存を考える ②過去の冬山での生き物との関わりを知る ③家族で楽しい一時を過ごす、をコンセプトに、かけ離れてしまった自然との距離感を縮められるようにと、参加していただいた親子11組30人のみなさんに、冬山の様々な体験をしていただきました。



勝山左義長ばやし保存会

「左義長ばやし講習会」

毎月2回左義長ばやしの三味線、笛、太鼓の講習会を開催しました。

年末からの初心者講習会は毎年行われていますが、早い時期から講習会を開催することで、時間をかけてじっくり講習を受けていただくことが出来ました。



「『勝山左義長ばやし お囃子のしおり』作成」

口伝などで伝えられてきたお囃子を、冊子としてまとめました。講習会や左義長ばやしを行っている団体などに無料配布しました。これをもとに基本的な左義長ばやしが伝承されることを望みます。

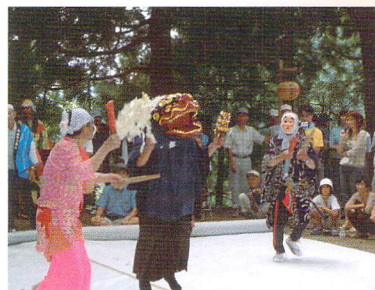


谷はやし込み保存会

「はやし込み行列」

平成12年に45年ぶりに復活した、はやし込み行列は谷区民や谷出身者を始め、市内外の方々に楽しんでいただいています。さまざまな時代衣装をまとった行列が、谷のお寺から伊良神社までの約300mを1時間かけて練り歩き、神社では謡や三番叟、神楽舞が奉納されました。

今後もこの伝統を次世代に残せるよう頑張ります。



「お面さん・雪像まつり」

北谷町谷地区に古くから伝わる「お面さんまつり」は、毎年2月16日に谷の集会場で行われており、これにあわせて、周辺に大小約120体の雪像を飾っています。雪像にはお面をかぶせ、ござぼうしを羽織らせて、夜になるとろうそくの灯が灯ります。その光景はとても幻想的なものです。また、山の幸を中心とした、昔ながらの食べ物が振舞われ、雪深い山間地の生活を体験していただいています。



勝山市観光ガイドボランティアクラブ

「勝山まちなかガイドブック」

勝山市観光ガイドボランティアクラブでは、昨年度「白山平泉寺ガイドブック」を作成し、今年度は「勝山まちなかガイドブック」を作成しました。勝山旧町の歴史を分かりやすく解説した手引きがなく、150数年続いた勝山藩主小笠原家の歴史・文化・産業・農業（開墾）・教育・武道等についてのガイドブックがなく、勝山を訪れた観光客の方に対し、不親切なところがありました。

この度のガイドブックは「知っていそうで知らない勝山の歴史」を基礎として考え、旧まちなか・駅前・長山公園まで広範囲にまとめることが出来ました。

道路地図（昔にあって現在ない道路も挿入しました）、写真、解説も分かりやすく、読んで楽しく、ガイドブックとして持ち歩いても楽しい冊子に仕上がりました。

「勝山まちなかガイドブック」500円、「白山平泉寺ガイドブック」200円で勝山市市民活動センターにおいて（再版の協力金として）お分けしております。



（社）勝山青年会議所

「まちづくり事業『クリーンアップ九頭竜川 ～川再清へ～』」

九頭竜川を多くの市民の手でふるさとの宝として誇りあるものにするとともに、川への意識を高めていただけることを目指して九頭竜川の河川清掃に取り組んでいます。2006年度は、この取り組みを持続あるものにするために、グラウンドワーク（市民、企業、行政がそれぞれ得意な部分を積極的に活かしていくまちづくり）をベースに、遅羽町・鹿谷町・北郷町の会場にて約350名の参加者の手で1,150kgのゴミを回収することができました。



「青少年育成事業『かっちゃん川がき冒険隊 ～川がきへの道～』」

身近にありながら遊ぶことのない九頭竜川で、最近いなくなりつつある「川がき」の復活をテーマに、青少年育成事業を行ってきました。2006年度は、小学生25名の「川がき」とボランティア（勝山の高校生、大学生、一般の方）13名を含め、筏での川遊びやぼんぼん船作りなど1泊2日のキャンプにて自然豊かな九頭竜川を肌で感じていただきました。

小原ECOプロジェクト

「古民家修復」

小原ECOプロジェクトは豊かな自然環境や美しい集落景観を守りながら、勝山市小原集落の再生と活性化を目指しています。民家修復作業は、プロジェクトの一環として福井工業大学吉田研究室と共同して行なわれました。



「古民家宿泊エコツアー」

今回修復された古民家を活用して11月に実施。県内外より約30名が参加してお茶栽培、笹寿司作りやナメコ栽培などを通して小原集落の生活文化の一端を楽しんでいただきました。

「登山道整備」

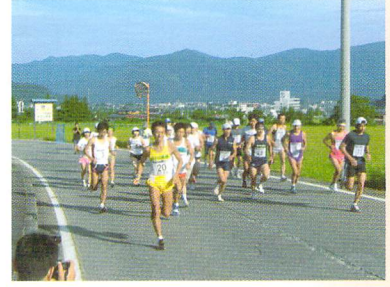
越前禅定道を含む赤兎山・大長山への登山道の整備及び補修を8月と9月の2回実施して延べ53人のボランティアの参加を頂きました。まだまだ補修箇所はありますが標柱の設置や排水路、階段作りなどの作業を実施しました。



越前禅定道修験者マラソン実行委員会

「第3回 越前禅定道修験者マラソン」

泰澄が切り開いたとされる白山禅定道を駆け上がる「越前禅定道修験者マラソン」を開催しました。第3回目となる今回の登山マラソンは勝山城博物館のご協力をいただき、当館前をスタートとする法恩寺山頂までの約8キロのコースで実施しました。マラソンと併せ同コースを歩く登山の部も今回から実施しました。標高差850Mの急峻な修験道を息を切らしながら駆け抜けたマラソン部門の最速タイムは、1時間10分23秒でした。登山部門では、ナチュラルリストの先導の元、ゆったりとしたペースで山頂を目指し、平泉寺の自然の紹介や史跡の紹介なども行っていただき、大変好評でした。



勝山エコミュージアム企画

「ネイチャーワールドKATSUYAMA」

ネイチャーワールドKATSUYAMAは、自然環境保護のあり方を考え、勝山の自然のすばらしさの紹介を目的として、夏休みの期間中、長尾山総合公園恐竜博物館横広場において、さまざまな勝山市の魅力の展示を実施しました。展示内容は、各地区のエコミュージアムの取り組み、勝山の自然のすばらしさ、伝統、お祭り、歴史などで、入場者約8,000人の方々（約7割が市外、県外の方）とコミュニケーションすることで勝山のよさをお伝えすることができました。今後も、勝山市のエコミュージアムを情報発信することで、勝山市の活性化を図り、また、市民参加型のイベントとして、まちづくりをはじめその波及効果で、元氣な町勝山を目指していきます。



わくわく体験学習推進隊

「自然観察会」

4～11月の第2日曜日に、長尾山総合公園をはじめバンピラインや平泉寺など市内各所で実施した自然観察会は、講師の先生のお話を聞きながら、ゆっくりと自然に親しみ、ふるりの自然のすばらしさを十分に体験できました。

ちょっとしたハイキング気分も味わえる事業となりました。



「恐竜化石発掘体験」

長尾山総合公園「どきどき恐竜発掘ランド」で勝山恐竜研究会の協力を得て実施した「恐竜化石発掘体験」は、他県からの参加者も多く、化石を発見して大変喜ばれました。今年度もゴールデンウィークや夏休み期間中を中心に大賑わいでした。

「登山」

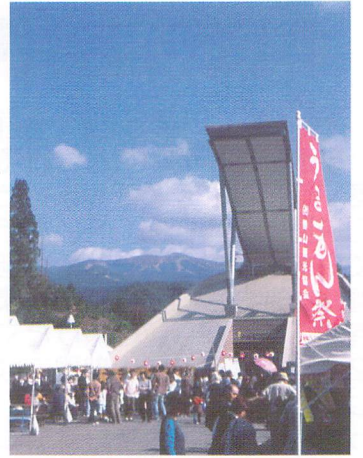
5月の取立山のミズバショウ探勝登山、6月には赤兎山のニッコウキスゲ探勝登山を実施しました。3月には山頂から雄大な白山連峰がパノラマで堪能できる取立山の春山登山を計画しています。



(社) 勝山観光協会

「うまいもん祭」

春と秋に開催される、勝山うまいもん祭り。観光事業活性化促進を図る宣伝広報推進事業として、勝山の特産品など「うまいもん」や勝山市の観光スポットの紹介・宣伝、ひいては周辺観光地の広報観光促進をめざしています。勝山のうまいもんを探しています。どんどん参加してください。



「鯉のぼり吹流し事業」

弁天桜が咲き誇る時期、鯉のぼりの吹流し事業をします。毎年200匹の鯉のぼりをあげ、九頭竜川弁天河原に訪れるみなさまの目を楽しませています。使わなくなった鯉のぼりの寄付をお願いします。

「平泉寺クリーンキャンペーン」

クリーンキャンペーン事業の一環として、平成9年より「平泉寺白山神社の苔を護る」作業を実施しています。貴重な観光資源を護ろうと観光協会会員、各団体、各企業など市民のみなさんと一緒に、毎年7月頃に、苔の中に生えている雑草を摘み取っています。



かくほう
～鶴峯の残雪～

撰定者とその時期ははっきりしないが、「福井県大野郡誌」（明治45年刊）に「勝山八景」の一つとして掲げられている。大日山の残雪が、鶴がはばたいているように見えることから「鶴峯の残雪」と呼ばれる。えちぜん鉄道発坂駅の辺りからよく見える。

勝山市エコミュージアム協議会

事務局 勝山市役所市長公室未来創造課内
〒911-8501 福井県勝山市元町1-1-1
TEL.0779-88-1111(代) FAX.0779-88-1119
e-mail rune@city.katsuyama.fukui.jp
HP <http://www.city.katsuyama.fukui.jp/>